

日本証券新聞社主催 個人投資家向け会社説明会

2026年7月9日(木)



人・夢・技術グループ株式会社

「もっといい」の、その先へ

CONTENTS / 本日の流れ

01. 人・夢・技術グループについて
02. 中期経営計画「持続成長プラン2028」と進捗
03. 2026年9月期中間決算ハイライト
および2026年9月期業績予想



01

人・夢・技術グループについて



人・夢・技術グループ経営理念 / Purpose

人が夢を持って暮らせる

社会の創造に技術で貢献する。



会社概要

商 号	人・夢・技術グループ株式会社 People, Dreams & Technologies Group Co., Ltd.		
創 立	2021年10月1日		
本 社	〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目20番4号		
代表取締役社長	野本 昌弘		
ホームページ	https://www.pdt-g.co.jp/		
資 本 金	31億750万円	決 算 期 日	9月30日
売 上 高	459億8,400万円(2025年9月期)	従 業 員 数	連結 2,150人
上 場 市 場	東京証券取引所スタンダード(9248)	単 元 株 式 数	100株
業 種	サービス業	発行済株式数	9,416,000株
略 称	人夢技術G	2025年9月期配当	62円



代表取締役社長 野本昌弘
2025年12月24日就任

公共事業と建設コンサルタント

国や地方公共団体などが発注する社会インフラ整備において、調査・計画・設計等の上流工程や維持管理を行うのが建設コンサルタント

【公共事業の一般的な流れ】



発注者
(行政)

①立案・計画

②予算化

発注 ↓ ↑ 納品

発注 ↓ ↑ 納品

発注 ↓ ↑ 納品

受注者
(民間)

建設コンサルタント

建設会社

③調査・計画・設計

④建設・施工

⑤維持管理

例えば

国が新しい
道路や橋を
計画する！

国交省が予算化

建設コンサルタントが
調査・計画・設計を行う

建設会社が
建設・施工

道路や橋が出来
上がり維持管理
を行う



建設コンサルタントが関わるインフラ整備



人・夢・技術グループの歩み

人・夢・技術グループのルーツは 長大の本四架橋(瀬戸大橋)設計から始まった



南北備讃瀬戸大橋 岡山県倉敷市-香川県坂出市

創立と原点 - 夢を現実へ -

- ・人・夢・技術グループの原点は、その前身である
1968年創立の長大による本四架橋の設計
- ・様々な技術課題に挑み、夢の架け橋を実現

総合建設コンサルタントへ

- ・橋梁分野を基盤に、交通計画、環境分野へ事業を拡大
- ・情報システム、建築、まちづくり分野へも展開

グループの拡大

- ・2000年代以降、アライアンスなどでグループ会社を拡大
多様な社会ニーズに対応
- ・空飛ぶクルマ、量子コンピューターなど新事業分野へ展開

2021年10月に持株会社体制へ移行



長大が設計した代表的な橋梁



岩城橋 2022年3月開通
ゆめしま海道が全線開通



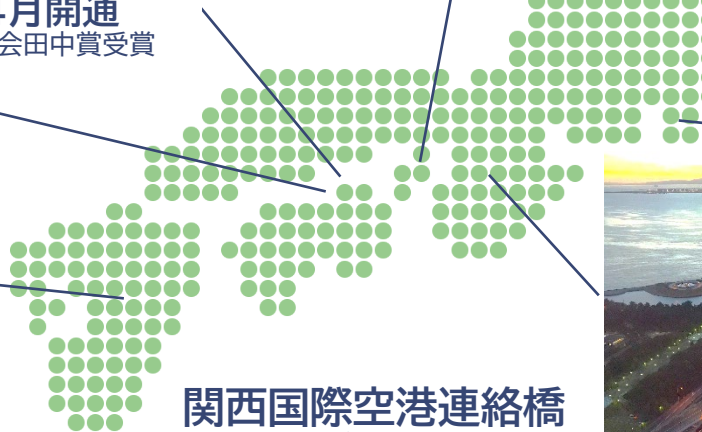
南北備讃瀬戸大橋
1988年4月開通
昭和63年土木学会田中賞受賞



明石海峡大橋
1998年4月開通
平成9年度土木学会田中賞受賞



新阿蘇大橋 2021年3月開通
令和2年度土木学会田中賞



関西国際空港連絡橋
1994年4月開通
平成3年度土木学会田中賞(作品部門)



三島スカイウォーク
2015年12月開通
2017年度グッドデザイン賞
(ビジネスモデル・土木構造物)

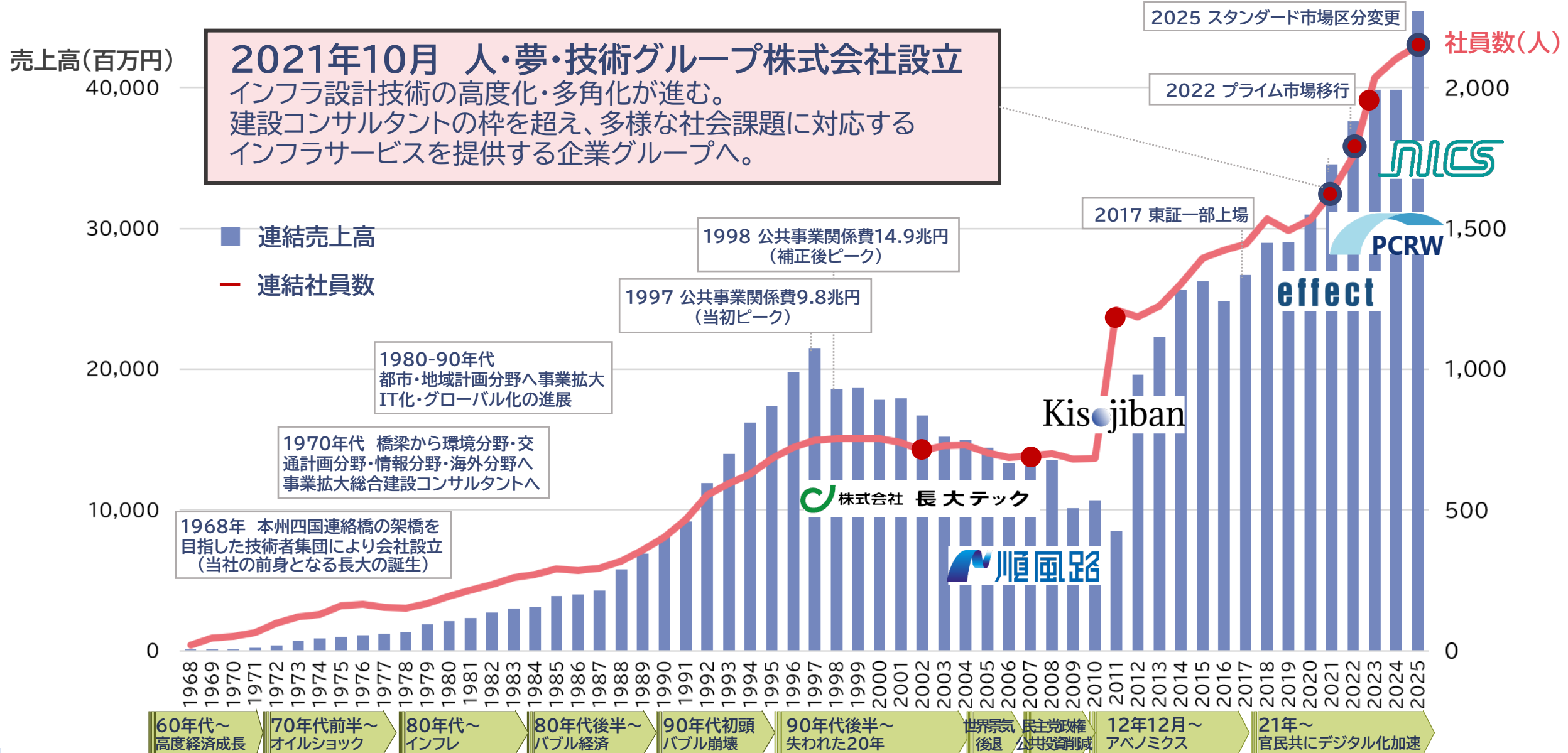


大師橋 2023年6月架け替え
令和5年土木学会田中賞(最優秀作品賞)
出展:首都高速道路



白鳥大橋 2013年5月開通
平成10年土木学会田中賞(作品部門賞)
出展:北海道公式観光サイト

人・夢・技術グループの沿革



主要グループ会社 (2025年9月期末時点)



株式会社 長大

Kisojiban



株式会社 長大テック

順風路

総合建設コンサルタント

売上高 202億9,000万円
社員数 1,023名

インフラ空間
総合コンサルタント、
土質・地質調査

売上高 214億4,700万円
社員数 712名

インフラ施設の
維持管理、
道路情報管理 他

売上高 12億7,600万円
社員数 124名

道路交通情報配信、
AIオンデマンド交通
システム提供

売上高 2億6,500万円
社員数 13名

effect

組み込みソフトウェア、
AI/IoTシステム開発

売上高 2億9,500万円
社員数 25名



地域建設コンサルタント
インフラ設計エキスパート

売上高 19億5,600万円
社員数 158名



ITコンサルタント
システムエンジニア

売上高 7億8,500万円
社員数 48名

連結子会社数

国内 12社
海外 2社



人・夢・技術グループ株式会社

純粋持株会社、グループ経営機能やグループ会社の事業成長の支援



人・夢・技術グループ | 「もっといい」の、その先へ

© 2026 People, Dreams & Technologies Group Co., Ltd. All Rights Reserved.

人・夢・技術グループの業界位置づけ

【建設コンサルタント部門売上高】

会社名 (主要子会社)	売上高 億円 (2025年9月末時点)
長大	203
基礎地盤コンサルタンツ	214
ピーシーレールウェイ コンサルタント	19
長大テック	12
ニックス、エフェクト、 順風路	13

グループ全体で
売上高460億円

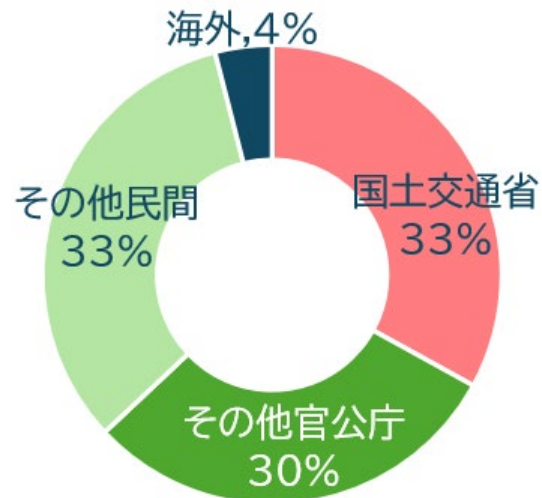
業界トップクラスの
企業グループに属する



人・夢・技術グループの強み

安定した
顧客基盤と
事業モデル

官公庁が約7割



社会インフラを支える
リーディング
カンパニー

大型構造物の計画・設計
から維持管理、更新まで
手がける

橋梁、道路、
地質・土質・地盤調査で
業界トップクラスの実績

高い専門性と
実績を誇る
技術者集団

国内外でもつ多数の
実績と高度な技術力
新たなインフラ事業
領域にも対応

- ・技術士数 **700**名
- ・RCCM **350**名
- ・一級建築士 **30**人



人・夢・技術グループが提供するインフラサービスの領域

国土基盤整備・保全分野

調査・計画・設計
施工管理・長寿命化

再生可能
エネルギー関連

防災・減災

文教・医療福祉
施設建築

環境・新エネルギー分野

調査・計画・設計・施工管理・
運用、洋上風力発電・
海底地盤調査

AI/IoT
情報インフラ

橋梁設計
構造物設計

地盤調査

環境関連

まちづくり

道路・交通
ITS関連

インフラ維持管理
長寿命化

地域創生

地域創生分野

地域、都市開発調査
まちづくり、公共施設運営
都市システム化計画

鉄道関連

港湾・河川
水工関連

公共事業
PPP/PFI関連

海外連携・新領域

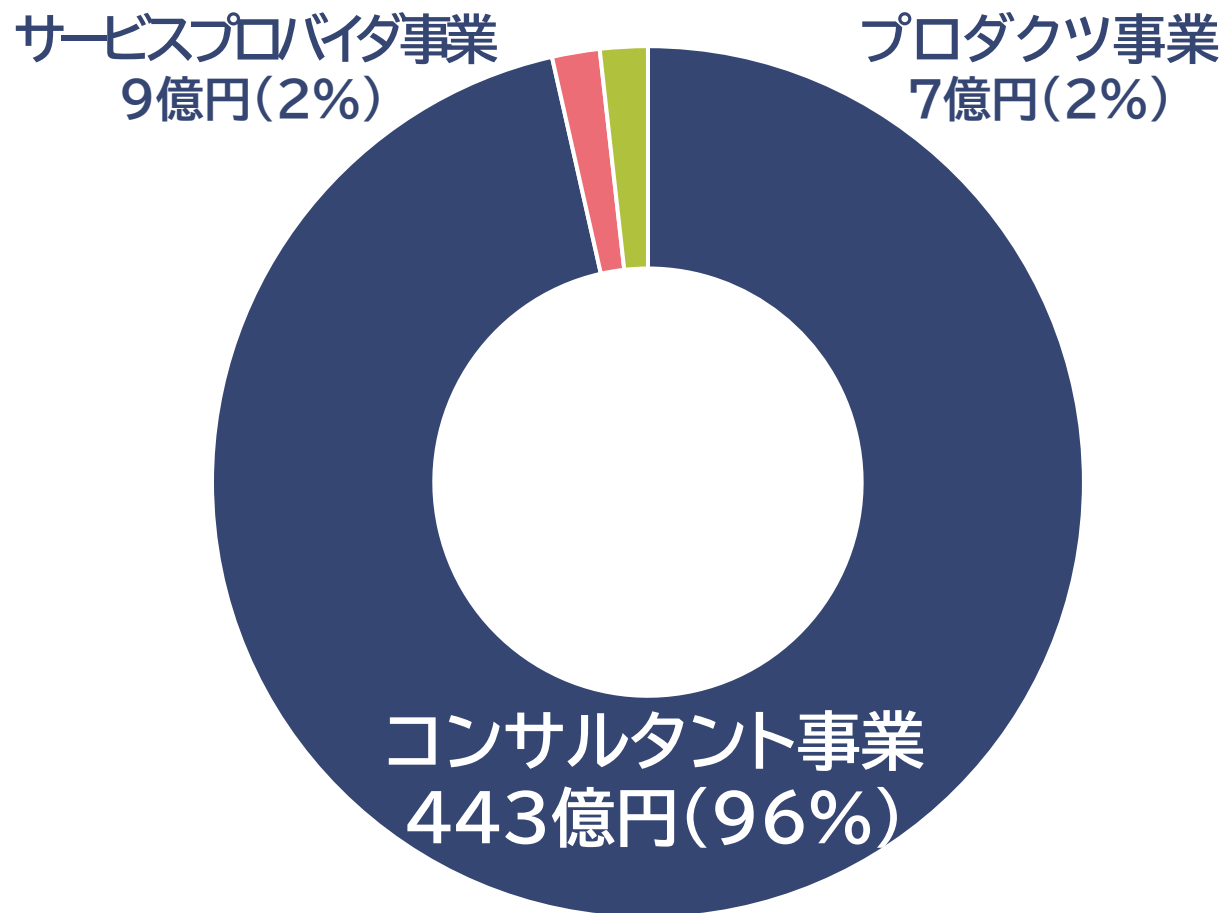
調査・計画・設計・運営
デジタル田園都市・量子・
空飛ぶクルマ



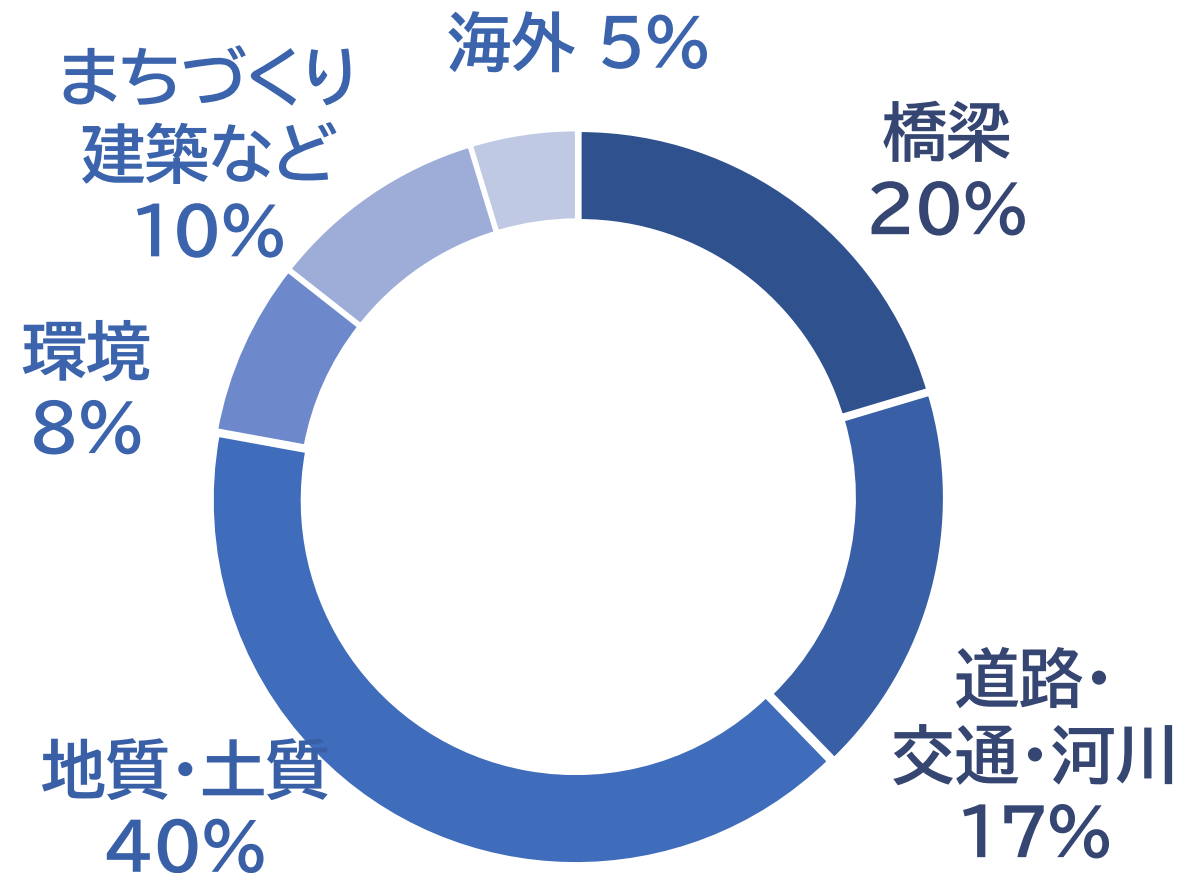
人・夢・技術グループの事業セグメント

セグメント別売上高

(2025年9月期)



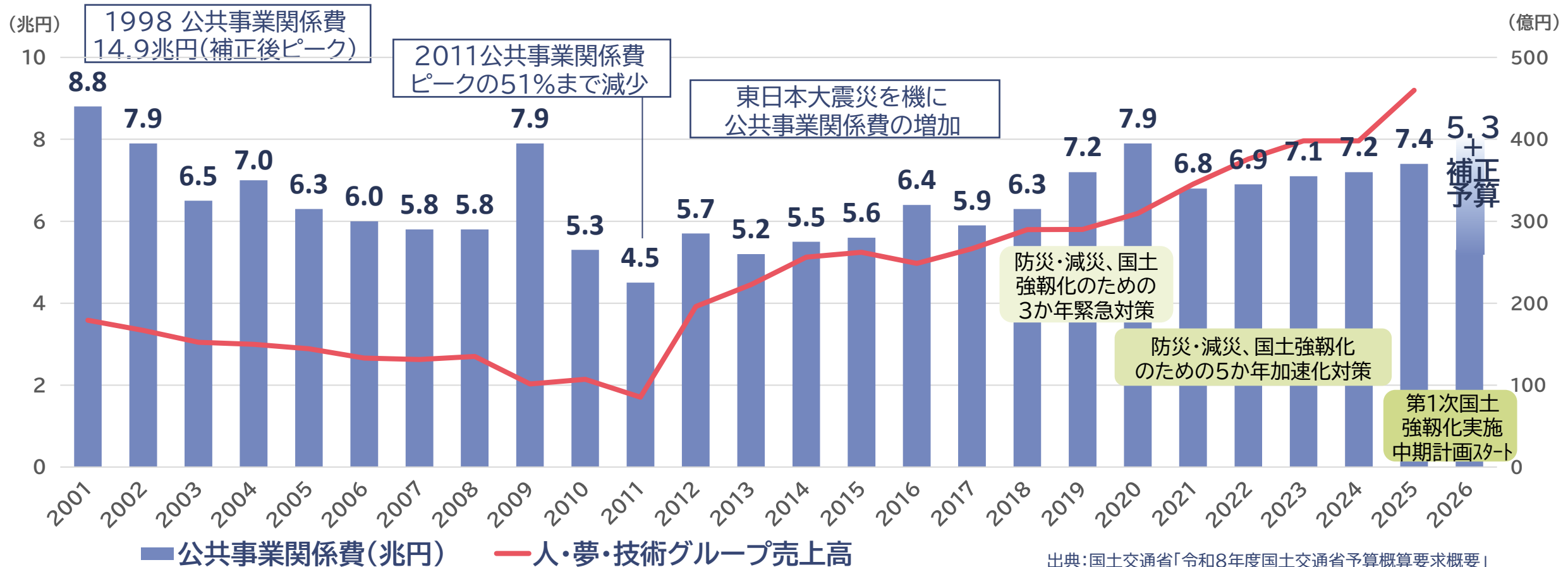
【コンサルタント事業の内訳】



当社の事業環境

公共事業関係費は、老朽化対策や国土強靱化などの予算確保により堅調

【公共事業関係費(国土交通省関係)と人・夢・技術グループの売上高推移】

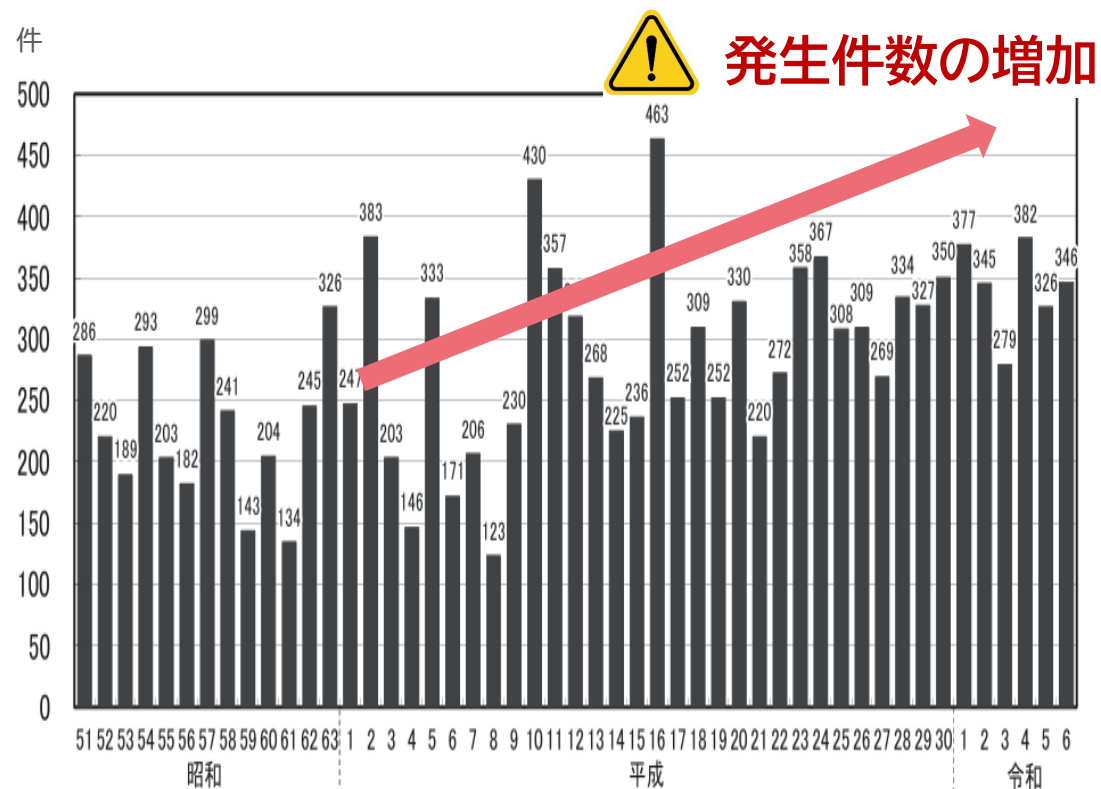


自然災害の激甚化と災害対応の重要性

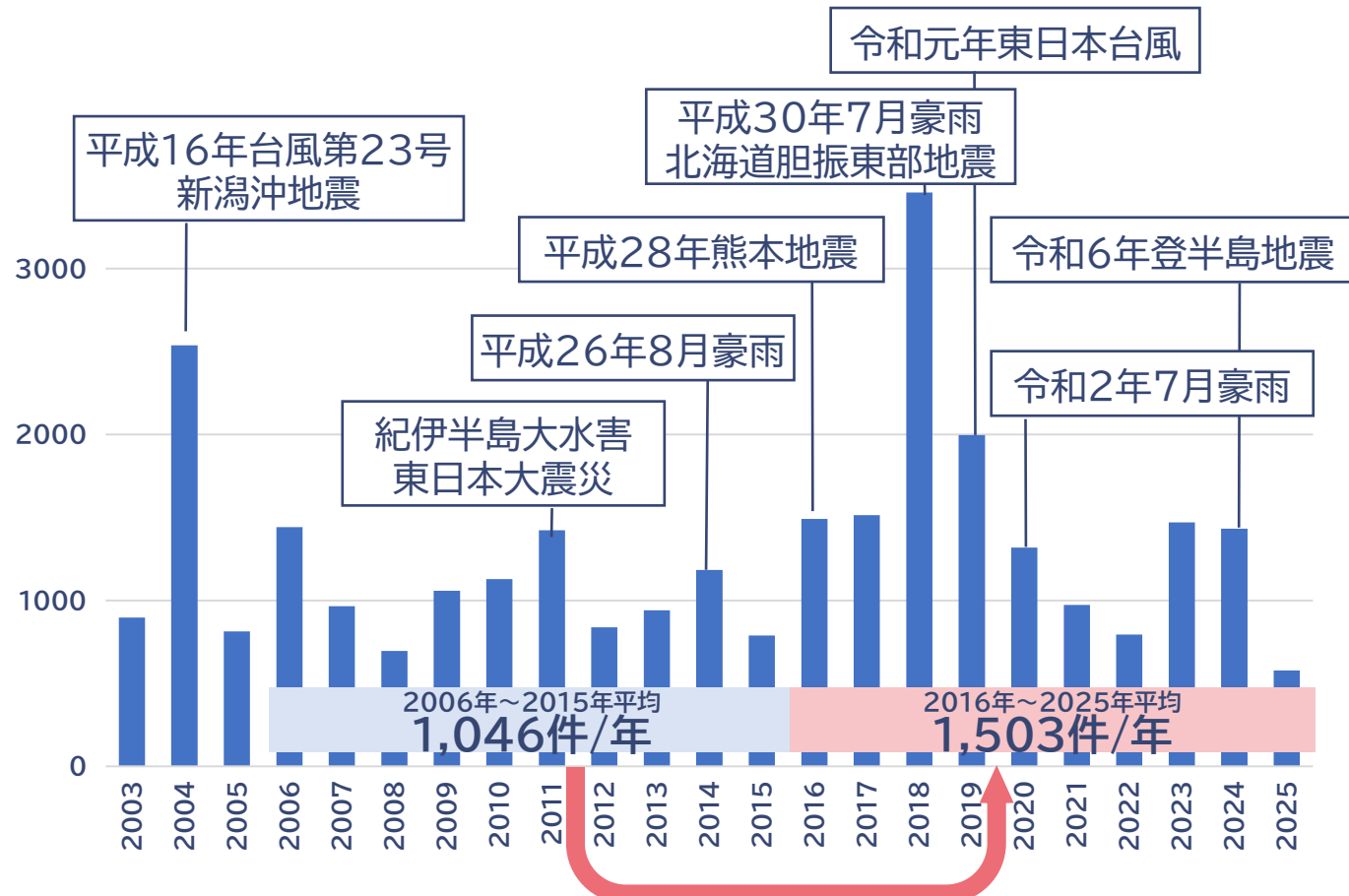
地球温暖化による気候変動で、建設コンサルタントの需要は拡大傾向

【1時間降水量50mm以上の年間発生件数】

アメダス1,300あたり



【土砂災害発生件数の推移】



出展：国土交通省河川データブック2025、国土交通省災害情報

自然災害に強い社会インフラを支える建設コンサルタント

長大

山形県の豪雨災害からの復旧復興へ代替路線の設計



災害時の代替路線として開通した最上川大橋

- 令和6年7月山形県北部豪雨災害の復旧作業で流失した根坂橋の早期復旧に尽力
- 最上川大橋と戸沢大橋の橋梁詳細設計を担当。災害時の代替路線の確保に尽力

基礎地盤コンサルタンツ

能登半島地震の被災を教訓に盛土空港の地盤調査



展望台から見た広島空港の滑走路(エプロン)

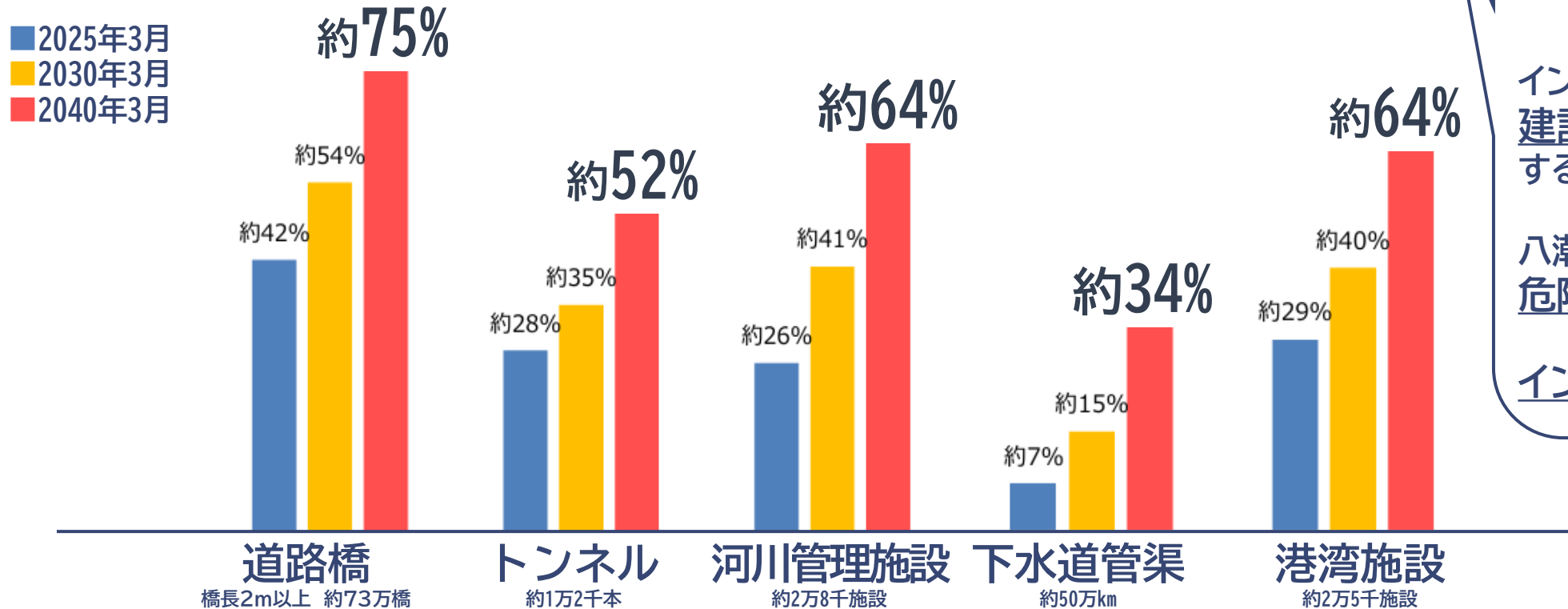
- 能登半島地震での滑走路損壊を踏まえて、空港の耐震性を評価
- 高度な地盤解析技術を活用し、人命や重要なインフラを守るための基盤整備に貢献



社会インフラの老朽化と維持管理需要の高まり

老朽化したインフラ維持管理の重要性が高まる

【建設後50年以上経過する社会インフラの割合】



インフラの過半数が
建設後50年以上経過
する

八潮市道路陥没事故など
危険度が増している

インフラの修繕が急務

出展：国土交通省 社会資本の現状と将来予測



公共事業の新たな形への展開

課題

老朽化したインフラ維持管理

- ▽ 老朽化したインフラの増加
- ▽ 行政の技術職員数の不足

官民連携や民間資金を活用して 公共施設の維持管理は新たなステージ

- ▽ 民間の資金・技術・ノウハウにより
維持管理の高度化
- ▽ 効果的なタイミングと適切な点検・補修
により、長期的な使用の実現

長大

国内初のPFI法に基づく特定事業「長崎県長大橋維持管理事業」の最優秀提案者に特定
第1期事業は、重点維持管理対象の長大橋7橋のうち2橋

長崎県長大橋維持管理事業 第1期事業対象橋梁

大島大橋

1999年架設(橋齢26年)



斜張橋 1,095.0m

伊王島大橋

2010年架設(橋齢15年)



鋼床版箱桁 876.0m

出展:長崎県道路維持課



02

中期経営計画「持続成長プラン2028」と進捗



長期経営計画「長期経営ビジョン2030」～実現に向けた折り返し地点～

人・夢・技術グループ発足

成長



CHODAI CO., LTD.

長大グループ
としての企業運営

中期計画
フェーズ

1

成長の基
盤づくり

中期計画
フェーズ

2

成長基盤
確立に向
けた成長
投資

中期計画
フェーズ

3

持続成長
の基盤の
確立

中期計画
フェーズ

4

持続成長
の実現



長期ビジョン
2030

「もっといい」の、
その先へ

将来

2018年9月期

2022年9月期

2025年9月期

2028年9月期

2031年9月期

経済価値と社会価値の提供による
持続的な成長

売上高: 290億円

376億円

459億円

487億円

600億円

営業利益率: 5.9%

9.0%

5.8%

6.4%

8.3%

従業員数: 1,500人

1,760人

2,150人

2,390人

2,600人

主要グループ会社: 3社

5社

7社

—

—



人・夢・技術グループ | 「もっといい」の、その先へ

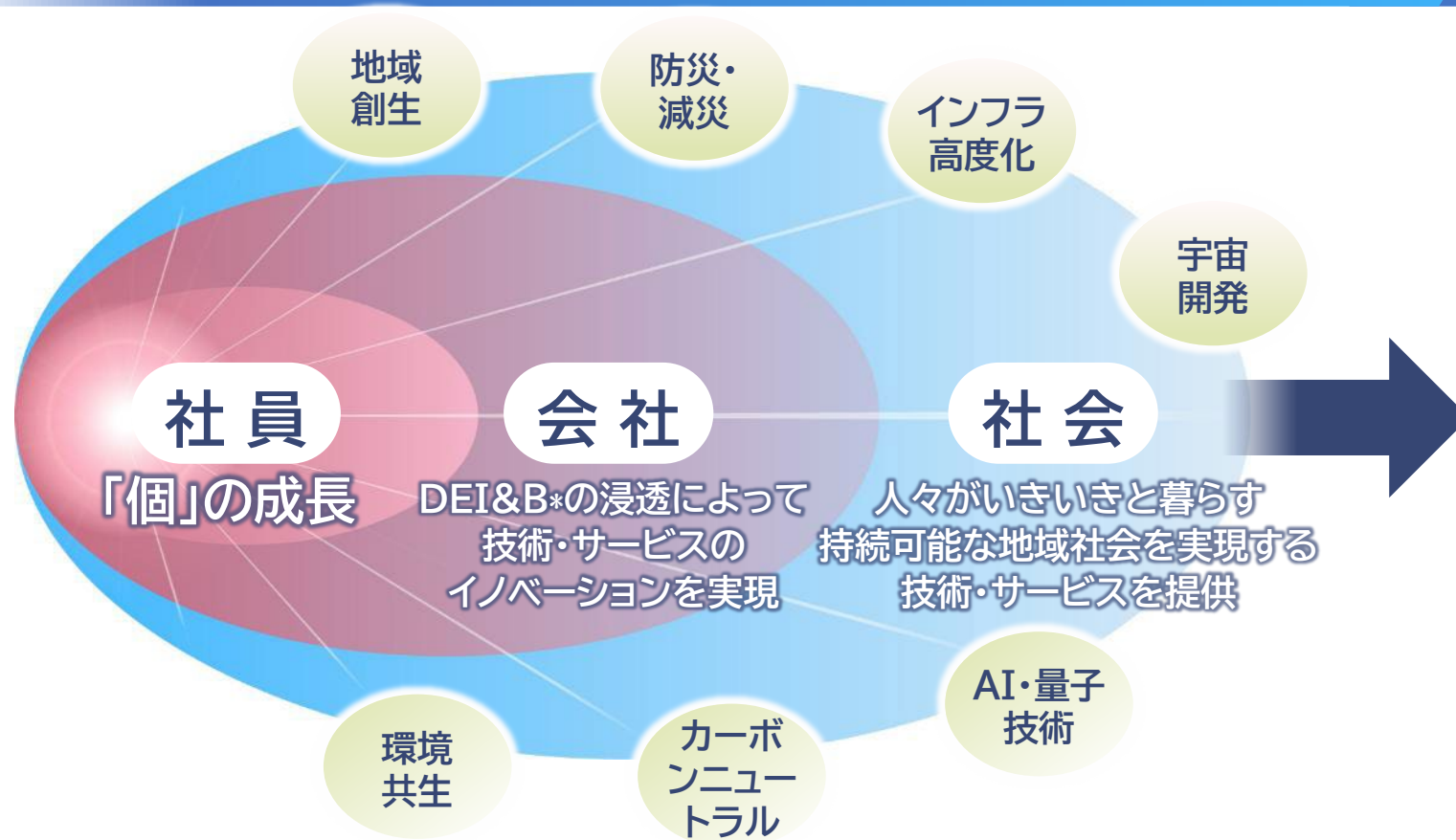
© 2026 People, Dreams & Technologies Group Co., Ltd. All Rights Reserved.

人・夢・技術グループのありたい姿

人・夢・技術グループの考える サステナブルな成長

ブランドメッセージ

(人・夢・技術グループのありたい姿)



私たちは「もっといい」を追い求めます。
このブランドメッセージは「私たちは社会や経済の環境変化に適応したインフラサービスの提供だけで満足せず、いまを生きる人々にとって、
当たり前の日常を「もっといい」ものにし、未来にわたって続く「もっといい」を、ただひたすらに追い求めます」という、当社の志(こころざし)を表現したものです。

株式会社 橋大 Kisejiban 株式会社 橋大テック 順風路 effect PCRW NACS

持続可能な社会づくりへの貢献に対する「志」を
ブランディングとして社内外へ積極的に発信



人・夢・技術グループ | 「もっといい」の、その先へ

© 2026 People, Dreams & Technologies Group Co., Ltd. All Rights Reserved.

中期経営計画「持続成長プラン2028」

基本方針

礎である「個」のチカラの最大化による確かな成長

事業軸別戦略

基幹事業の新たな価値創出と
新事業・新分野の収益性向上

事業軸Ⅰ：国土基盤整備・保全分野

更新維持管理分野への注力と顧客や業務分野の拡大

事業軸Ⅱ：環境・新エネルギー分野

CNや再生可能エネルギーサービスの多角化

事業軸Ⅲ：地域創生分野

地域課題の解決・解消を図るまちづくりサービスの提供

海外連携展開領域

重点地域におけるODA+非ODA案件の受注と受注安定化

新規分野・災害対応

新事業・新規顧客への拡大と災害時の対応強化

×

横断戦略

サステナビリティ推進のための
人的投資やDXの推進

人的資本

個人内多様性の拡大と安全・健康な職場づくり

カーボンニュートラル

社会全体のカーボンニュートラルへの貢献

ガバナンス

グループガバナンスの強化

DX

DXによる生産性の向上

業績目標

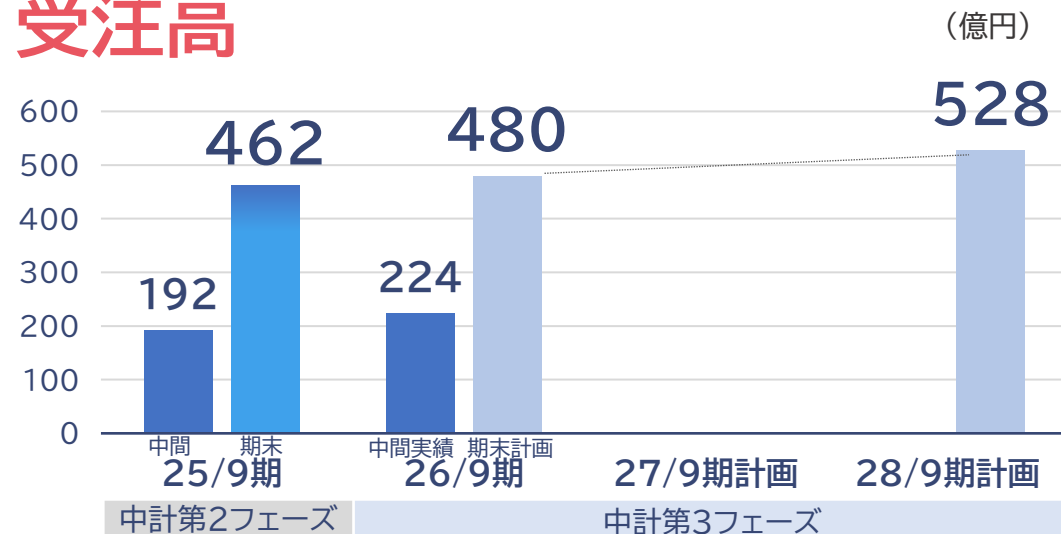
2028年9月期

売上高 487億円 営業利益 31億円 営業利益率 6.4% ROE 9.0% 社員数2,390人

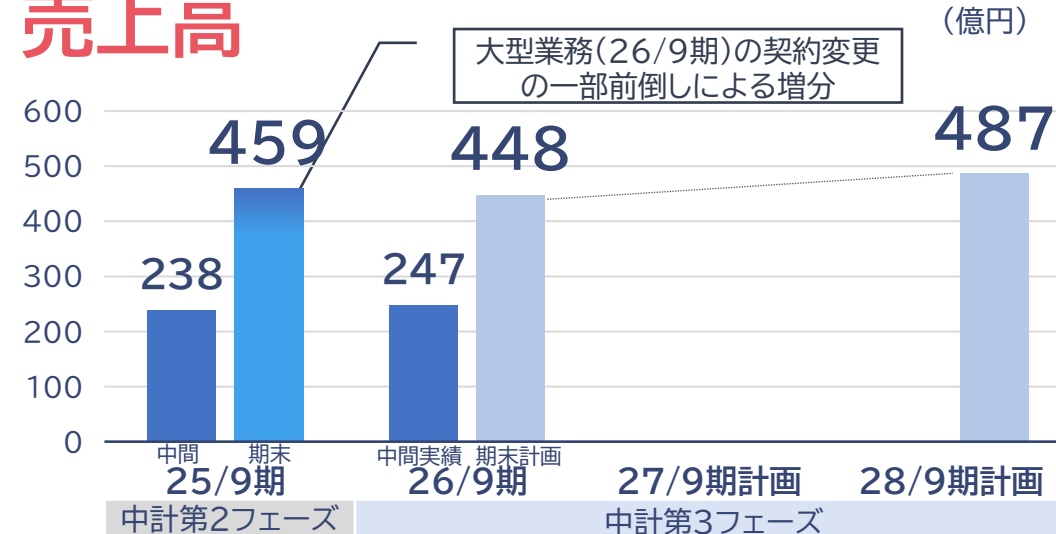


業績目標

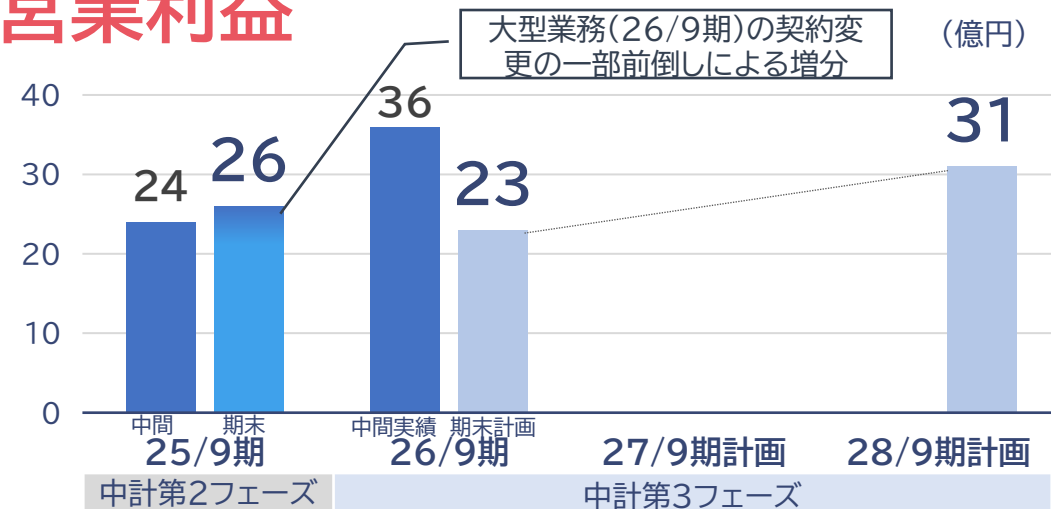
受注高



売上高



営業利益



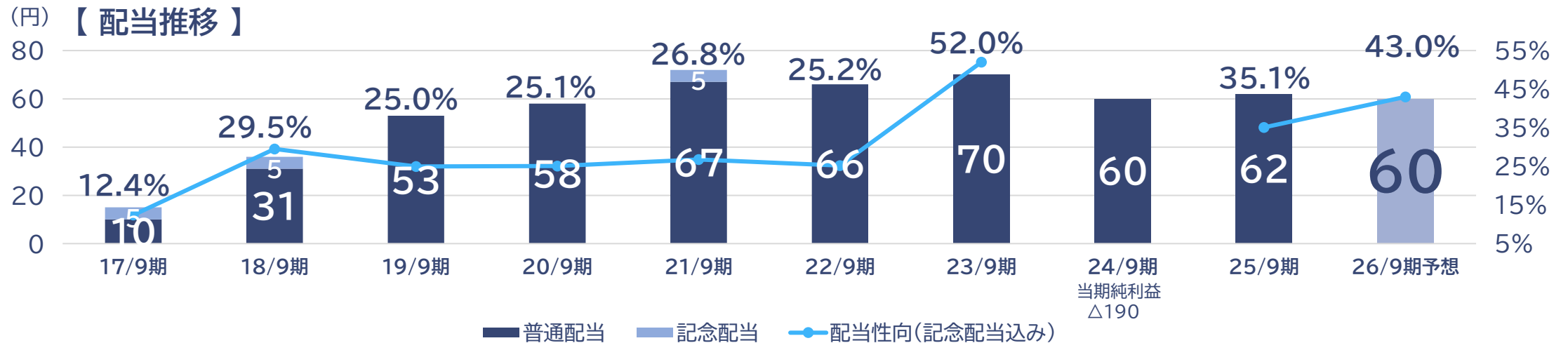
ROE



株主還元・財務戦略

株主還元

- 長期経営ビジョンの最終年である2031年9月期まで、1株当たり配当額60円と配当性向35%に基づく配当額の高い方を目安として安定的な配当を行う
- 機動的な自社株買いなど、適切な資本コントロールを実施する

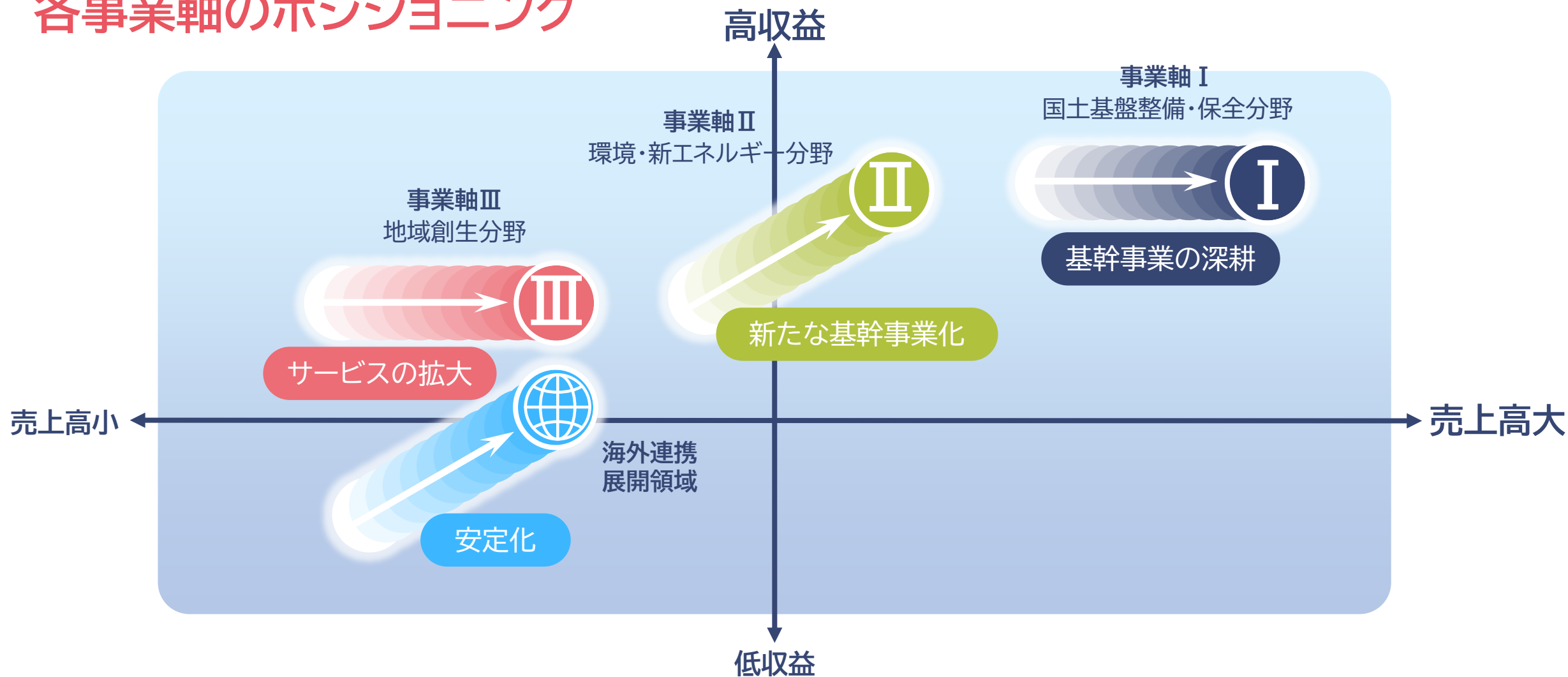


資本コストや株価を意識した経営

- 事業活動で生み出したキャッシュフローの効率的な配分(事業投資と株主還元)により、ROEの向上を図る
- 持続成長プラン2028の実行と長期ビジョン2030への中長期的な取り組みで、中長期的にROE10%を実現し、PBRの改善を図る

事業軸別戦略

各事業軸のポジショニング



キャッシュアロケーション

人的投資、ITインフラ・DX投資、研究開発投資、事業開発投資は計画通りに進捗。
事業面でのシナジーが期待される企業への出資およびM&Aを検討中

キャッシュアロケーション

【キャッシュイン】

営業CF (研究開発費等控除前)
120億円
(必要に応じて保有資金や外部調達を活用)
外部調達



【キャッシュアウト】

株主還元	18億円
人的投資	39億円
ITインフラ・DX投資	14億円
成長投資	32億円
その他の設備投資	17億円
M&A投資	30億円～

人的投資

39億円

- ・ 社員の能力開発プログラムの実践
- ・ メリハリのある人事考課と給与水準の引き上げ
- ・ 採用強化や働く環境の整備

ITインフラ・DX投資

14億円

- ・ グループとしてのITインフラ投資、DX開発投資

成長投資

32億円

- ・ 研究開発投資、事業開発投資
- ・ 新事業・ベンチャー投資

M&A投資

30億円～

- ・ インフラサービスとシナジーのある新事業領域へのM&A投資(新モビリティ、再生可能エネルギーなど)
- ・ 技術、人材、顧客基盤の獲得を通じ、事業ポートフォリオを拡充(港湾・河川分野、防衛分野、地域の建設コンサルタントなど)



03

2026年9月期中間決算ハイライト
および2026年9月期業績予想



2026年9月期 中間決算 連結損益計算書サマリー

受注高、売上高、利益ともに通期計画通りに進捗

(百万円)

	2025年9月期	2026年9月期			2026年9月期	
	中間実績	中間実績	対前年同期 増減	対前年同期 増減率	計画	対前期 増減率
受注高	19,219	22,444	3,225	16.8%	48,050	4.0%
売上高	23,818	24,791	972	4.1%	44,800	▲2.6%
営業利益	2,434	3,600	1,165	47.9%	2,300	▲14.3%
営業利益率	10.2%	14.5%	4.3%	—	5.1%	—
経常利益	2,462	3,711	1,248	50.7%	2,318	▲14.4%
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,563	2,399	835	53.4%	1,236	▲21.0%

● 受注高・売上高

- ・ 基幹事業の受注が寄与し、受注高は堅調に推移。前期の好調な受注、および引き渡しの早期化により売上高は増加

● 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する中間純利益

- ・ 売上高の増加、ならびに業務の効率化等により、増益傾向となる
- ・ 当初より計画・実行している先行投資(事業領域の確立と拡大に向けた研究開発投資、人的投資、生産性の向上に向けた IT/DX 投資等)を着実に実施しながらも、順調に推移

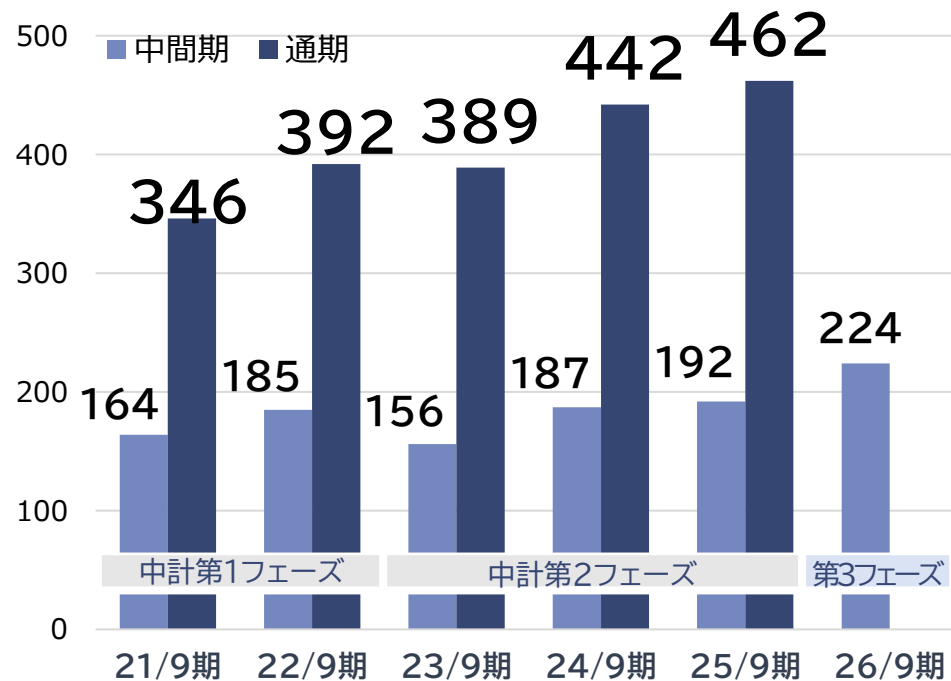


連結業績推移 ～受注高・売上高～

受注高、売上高、利益は通期計画通りに進捗、中間期時点では前年同期を上回る推移となる

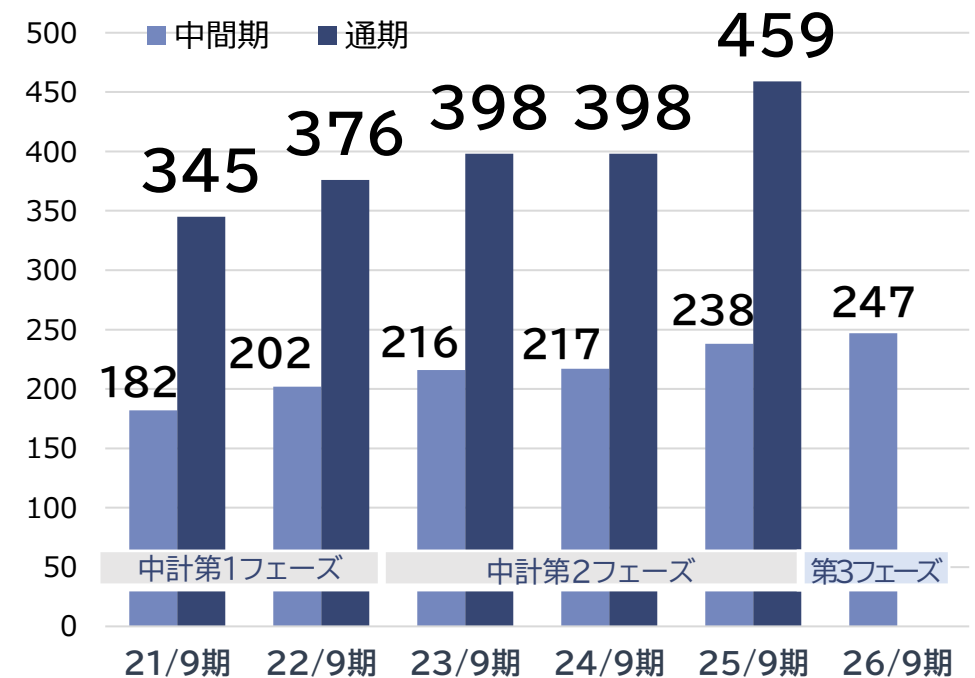
受注高

(億円)



売上高

(億円)



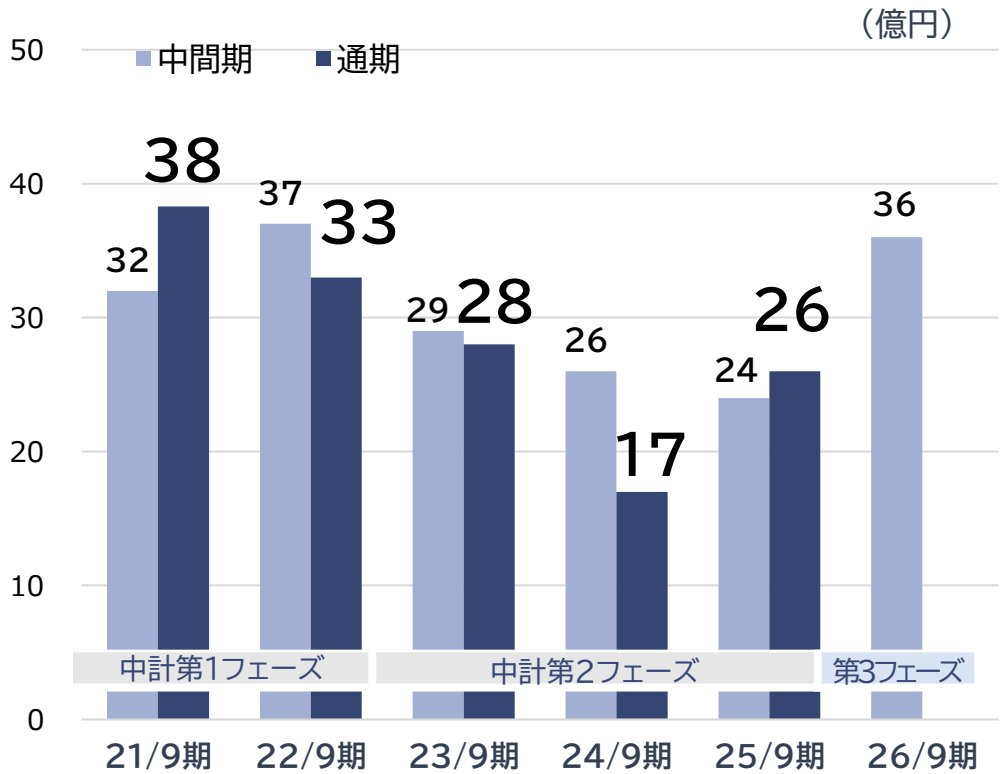
【ご参考】2021年9月期実績は、株式会社長大として公表した数値



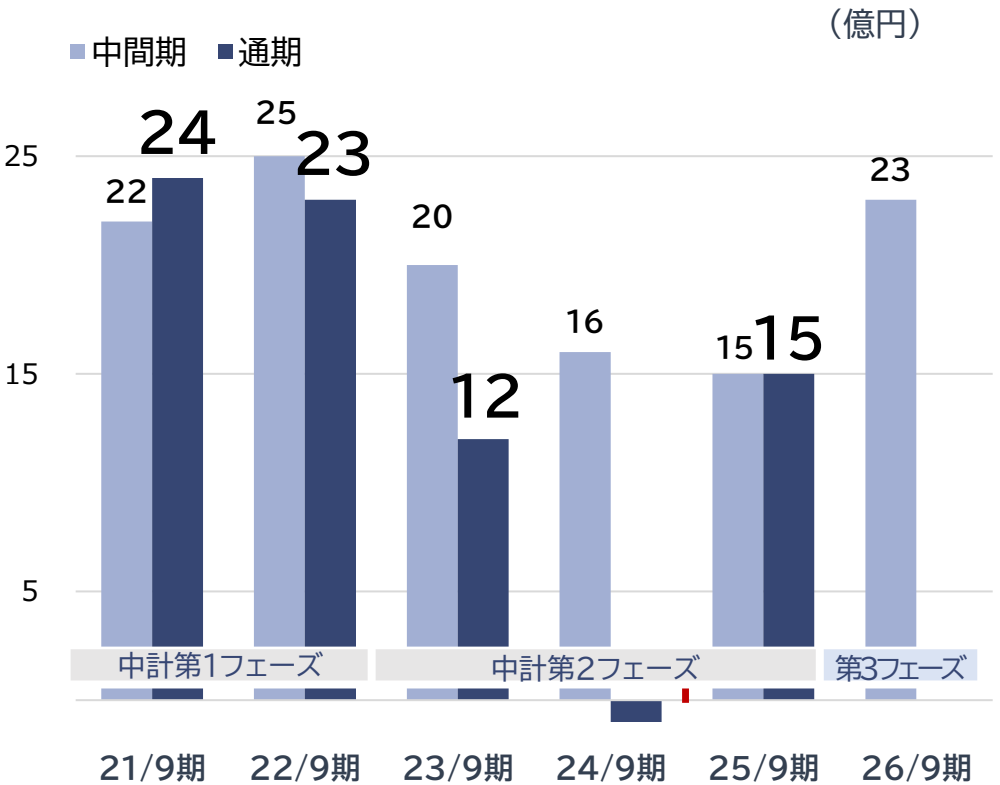
連結業績推移 ～営業利益・当期純利益～

受注高、売上高は通期計画通りに進捗、中間期時点では前年同期を上回る推移となる

営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



(5)

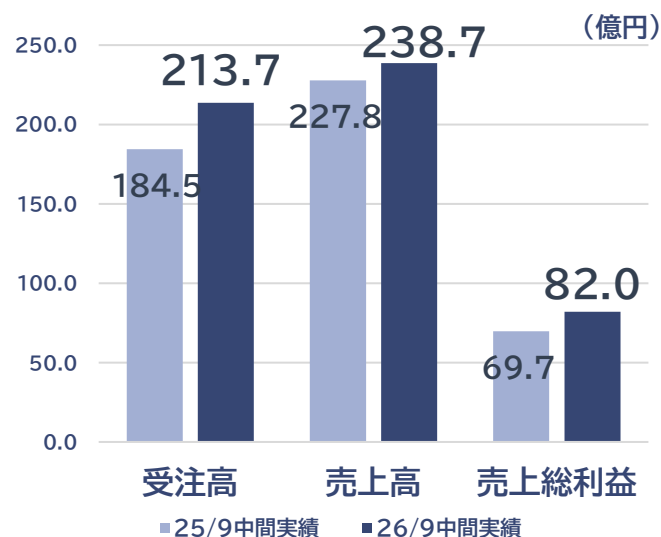
【ご参考】2021年9月期実績は、株式会社長大として公表した数値



セグメント別連結損益計算書サマリー

受注高は、主に国土交通省、防衛省、海外等の受注の好調を背景に前年同期を上回る
売上高・売上総利益は、全体では前年同期を上回る推移となる

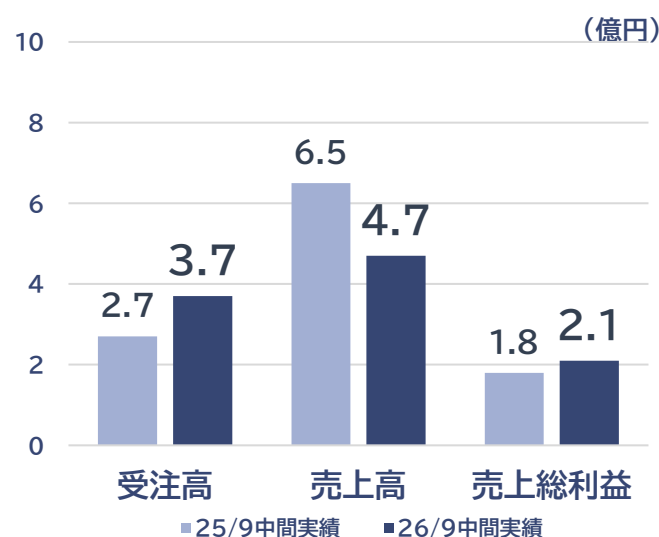
コンサルタント事業



● 受注高が大きく増加し、増収増益

- 受注高は、国土交通省、防衛省、地質・土質調査などの受注が好調に推移し増加
- 売上高、売上総利益は、前期の受注の好調を受けて増加

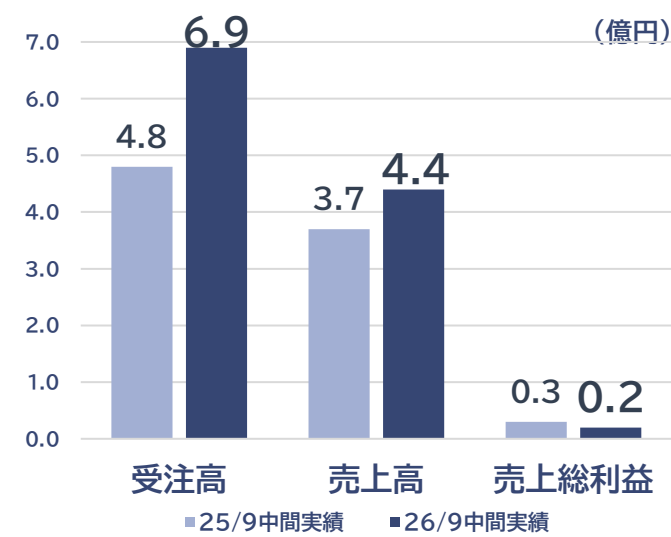
サービスプロバイダ事業



● 受注高、売上総利益は増加

- 受注高は、PPP/PFI事業分野、デマンド交通事業や新事業分野などの受注が堅調に推移し増加
- 売上高は減少したものの業務の効率化等により、売上総利益は増加

プロダクツ事業



● 受注高、売上高は増加

- コンクリート用夜間反射塗料、バイオグリーンシールドなどの商品が好調に推移し、受注高、売上高は増加
- 売上総利益は前期と同水準で推移



2026年9月期 連結業績予想

2026年9月中間期は、受注および売上高は概ね計画通りに進捗し、営業利益は伸長。
令和8年度の発注動向を慎重に見定める必要があることから、通期予想は据え置き

(百万円)

	2026年9月期 通期予想	前年度比		2025年9月期 中間実績	2026年9月期 中間実績	前年同期比	
		増減値	増減率			増減値	増減率
受注高	48,050	1,827	4.0%	19,219	22,444	3,225	16.8%
売上高	44,800	△1,184	△2.6%	23,818	24,791	972	4.1%
営業利益	2,300	△383	△14.3%	2,434	3,600	1,165	47.9%
営業利益率	5.1%	△0.7%	-	10.2%	14.5%	4.3%	-
経常利益	2,318	△390	△14.4%	2,462	3,711	1,248	50.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,236	△328	△21.0%	1,563	2,399	835	53.4%

- 受注高、売上高
 - ・ 受注高は、好調な受注環境を背景に堅調に推移する見込み。売上高は、現時点では計画通りに進捗
- 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益
 - ・ 令和8年度の発注動向を慎重に見定める必要があることから、現時点では通期予想に変更なし

事業軸別戦略 – 事業軸別の取り組み

中期経営計画の方針に沿い、事業軸ごとに重点分野を積極的に展開

I 国土基盤整備・保全



スムーズな車の流れと防災・減災を両立

中期経営計画に沿い、維持管理や防災減災分野を積極的に展開

【重点分野】

橋梁・道路設計、地盤・地質・土質調査、交通・ITS計画、
港湾・河川設計、計画、防災減災・点検

【受注関連トピックス】

長大は京奈和・橿原高田ICのランプ橋を担当耐震性能と
大阪・奈良のアクセス性を向上

II 環境・新エネルギー



水をたたえた野村ダム

エネルギー分野は、地域の価値創出や地域創生へのニーズに呼応

【重点分野】

環境、再生可能エネルギー開発

【受注関連トピックス】

長大は地域と連携。

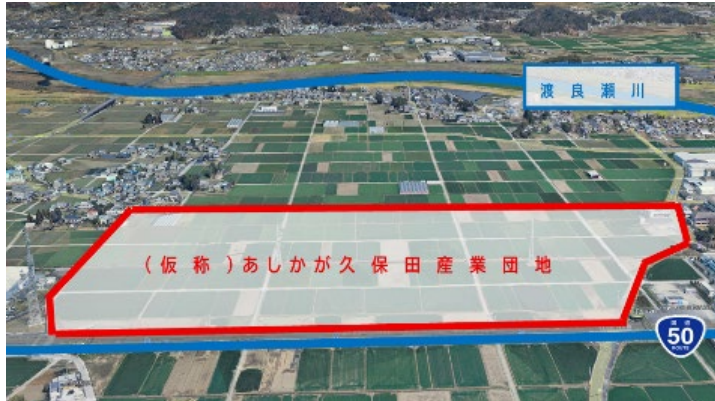
持続可能なエネルギー活用の新たなモデルとなるハイブリッド
ダムでカーボンニュートラルと地域振興の両立へ



事業軸別戦略 – 事業軸別の取り組み

中期経営計画の方針に沿い、事業軸ごとに重点分野を積極的に展開

Ⅲ地域創生



上空から見た「あしかが久保田産業団地」建設予定地

まちづくりや産業基盤整備が、地域の価値創出
地域創生へのニーズに対応

【重点分野】

都市総合計画・マスタープラン、スマートシティ、PPP・PFI、建築、
オンデマンド交通等

【受注関連トピックス】

ピーシーレールウェイは地域振興のための産業団地、
整地実施設計を担当

Ⅳ海外連携展開領域



バターン-カビテ連絡橋架橋の完成イメージ

大型案件の契約により受注は当初計画を上回る
継続して案件獲得を目指す

【重点分野】

橋梁・鉄道設計、地質調査

【受注関連トピックス】

長大は東南アジア最大のバターン-カビテ連絡橋建設事業にて
高難易度の施工監理を担当



事業軸別戦略 – 事業軸別の取り組み

新規分野・災害対応 空飛ぶクルマ



画像提供: SkyDrive

- 株式会社SkyDriveと資本業務提携
- 当社が有する交通計画、構造設計などの技術とSkyDrive社のモビリティ技術を組み合わせる
- 次世代エアモビリティ分野における事業領域の拡大と持続可能な社会インフラの実現に取り組む

量子コンピュータ



- 長大は、Q-STARの主要メンバーとして量子技術の社会実装に向けた取り組みを推進
- 量子技術を活用した未来のまちづくり「クオラムシティ」の実現に向けた自治体・大学・企業との交流イベントを開催

横断戦略 – サステナビリティ経営(人的資本)

建設コンサルタントにとって、人材は最大の資本であり、個々の成長がグループの成長を支える

人・夢・技術グループで活躍できる
海外人材育成プロジェクト



本社で開催したウェルカムパーティ

- 4名の学生は、日本語学校や当社のOJTを通じて2年間学びながら、日本で活躍できる技術者をを目指す

女性の健康経営®アワード2026で
『推進賞』を受賞(長大)



2026年3月24日に行われた表彰式

- ①女性特有の健康課題への理解促進、②マネジメント層の積極的な関与、③社員と管理職の相互理解を促進と行動変容などの波及効果が評価された

横断戦略 – サステナビリティ経営(カーボンニュートラル、ガバナンス)

カーボンニュートラルの推進とガバナンス強化により、グループの持続的な価値向上へつなげる

● カーボンニュートラル

- 英国のNGOであるCDPから2025年の「気候変動」分野において、「C」スコアを獲得
- GHG排出量の第三者認証も取得予定



● グループガバナンスの強化

- 内部統制の強化および会計基本原則の遵守のため、モニタリングを継続的に実施

● 中期経営計画「持続成長プラン2028」の開始



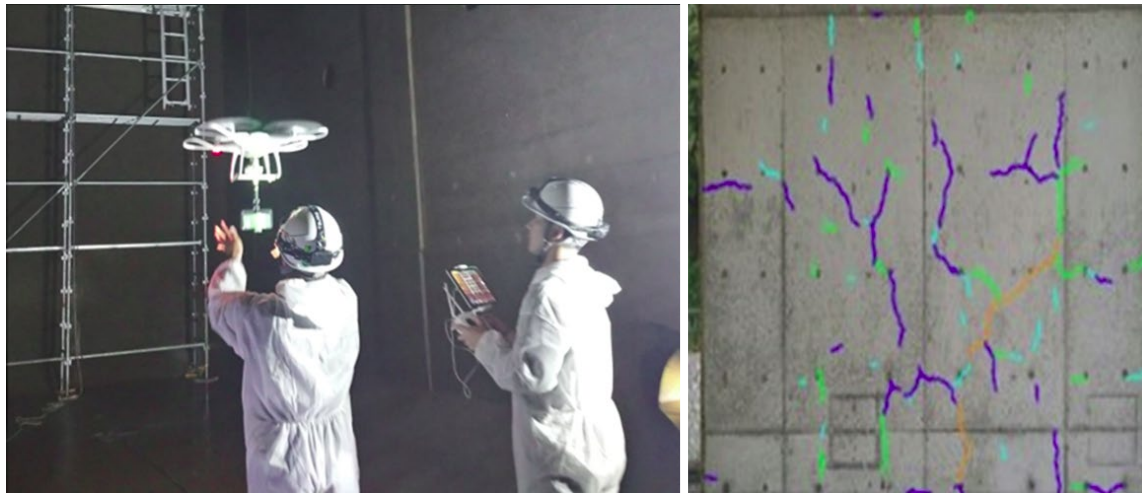
トークセッション形式で各社代表と社員が意見を交換

- 「長期経営ビジョン2030」の第3フェーズとなる中期経営計画「持続成長プラン2028」の周知。グループビジョンや戦略・施策の浸透と共有
- 「個」の力を明確にするために経営トップからグループ全社員に向けてメッセージを発信

横断戦略 - DX、新規分野

新規分野、基幹事業分野にて、グループシナジーを発揮しながらDX推進
デジタル技術の活用は、事業・サービスの競争力強化に不可欠なフェーズへ

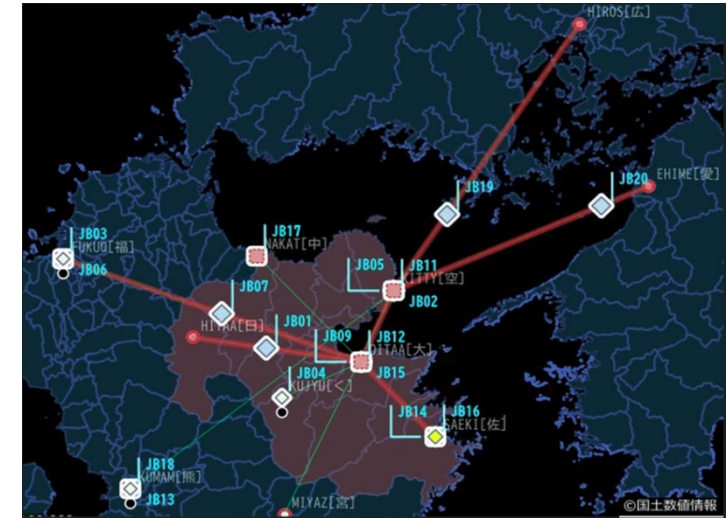
● DXの推進



ドローンを活用した点検(左) 画像の解析イメージ(右)

- 基礎地盤コンサルタンツは、東京都の水道インフラを定期点検健全度を把握し、劣化を予測

● 新規分野×デジタル



シミュレーション上で運航の動きを再現・可視化

- エフェクトは長大と協働して空飛ぶクルマの運航シミュレータを開発し、ルートや事業性を事前に評価
- 技術とIT分野の両面から、グループシナジーを高め、新たな価値創出に貢献

「もっといい」の、その先へ

いまを生きる人たちのために、未来を生きる人たちのために、

私たちは、変わることをためらわない。

私たちが創るインフラは、

これまでも、これからも「もっといい」。

私たちは創る。新しいインフラを。新しい社会を。

すべての人のための未来を。



人・夢・技術グループ

質疑応答



人・夢・技術グループ株式会社



「もっといい」の、その先へ

問い合わせ先

人・夢・技術グループ株式会社 社長室 広報・IRグループ

電話:03-3639-3317 FAX:03-6634-6430

Mail:ir@pdt-g.co.jp

- ・本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- ・本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- ・本資料中の業績予想並びに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。
- ・本資料の著作権は当社が保有しており、無断転載は禁止いたします。



